

## 古文 読解問題 「枕草子」の「うつくしきもの」①

① うつくしきもの。瓜にかきたる児の顔。すずめの子の、ねず鳴きするに<sup>ア</sup>踊り来る。二つ三つばかりなる児の、急ぎて這ひくる道に、いと小さき塵<sup>カ</sup>のありけるを目ぎとに見つけて、いとをかしげなる指にとらへて、大人などに見せたる、いとうつくし。頭は尼そぎなる児<sup>コ</sup>の、目に髪の毛<sup>イ</sup>覆へるをかきは<sup>ウ</sup>やらで、<sup>②</sup>うちかたぶきてものなど見たるも、うつくし。

大にはあらぬ殿上童の、装束きたてられてありくもうつくし。をかしげなる児の、あからさまにいだきて遊ばしうつくしむほどに、かいつきて<sup>エ</sup>寝たる、いとらうたし。雛の調度。蓮<sup>カ</sup>の浮葉<sup>③</sup>のいとちひさを、池より取りあげたる。葵のいとちひさき。なにもなにも、ちひさきものはみなうつくし。いみじう白く肥えたる児<sup>ド</sup>の二つばかりなるが、二藍の薄物など、衣長にてたすき結ひたるがはひ出でたるも、また短きが袖がちなる着てありくもみなうつくし。八つ、九つ、十ばかりなどの男児の、声はをさなげにて書読みたる、いとうつくし。鶏の雛の、足高に、白うをかしげに、衣短なるさま<sup>オ</sup>して、ひよひよとかしかましう鳴きて、人のしりさきに立ちてありくもをかし。また親の、ともに連れて立ちて走るも、みなうつくし。雁の子。瑠璃の壺。

問一．「枕草子」に関する次の問題に答えなさい。

(1) 「枕草子」の作者・成立した時代を答えなさい。

(2) 「枕草子」の他の「三大随筆」の作品名とその作者を答えなさい。

問二．傍線部ア～オの動詞の活用の種類と活用形(○行○活用○形)を答えなさい。

問三．傍線部①「うつくしき」の意味を答えなさい。また、本文から同じ意味を持つ言葉を 6 文字で書き抜きなさい。

問四．傍線部②「うちかたぶきてものなど見たる」とあるが、その理由として最も適切なものを次の中から選びなさい。

- ア．前髪についていた塵をじっくり観察するため、小首をかしげて物など見た。
- イ．見ているものを周囲に気づかれないようにするため、小首をかしげて物など見た。
- ウ．目に前髪が覆いかぶさって見ることができないから、小首をかしげて物など見た。
- エ．大人に対して敬っている姿を見せようと思い、小首をかしげて物など見た。

問五．傍線部③「の」と同じ用法で使われている「の」を文中の a～d の中から選びなさい。

# 読解問題 「枕草子」くつくしきもの」 ① 解答・解説

問一、 (1) 清少納言／平安時代(中期)

(2) 徒然草・兼好法師／方丈記・鴨長明

問二、

① カ行変格活用連体形 … 文末にあるため終止形になるが、カ行変格活用が「こ・き・くる・くる・くれ・こい」と活用するため、連体形だとわかる。下に「もの」が続くが省略されている。

② ハ行四段活用已然形 … 活用表から已然形か命令形に絞ることができ、下に「る」が続いているため、「已然形」と判断できる。

③ ラ行四段活用未然形 … 下に打消の助詞「で」が続いているため、「未然形」と判断できる。

④ ナ行下二段活用連用形

⑤ サ行変格活用連用形

問三、 意味…かわいらしい

同じ意味の言葉…をかしげなる

問四、 ウ

問五、 d

…傍線部②の「の」は浮き葉でたいそう小さい「浮き葉」をの「浮き葉」が省略されているため「同格」と判断できる。dの「の」も同じように「子ども」を補うことができるため「同格」だとわかる。aは主格、bは主格、cは連体格になる。